



礼儀正しい行動

校長 垣崎 晃

例年よりも早く梅雨入りし、心配されたお天気でしたが、現在の所、半分以上水泳学習を進めることができています。コロナ禍のため、入水できるのが2クラスまでですので、なかなか回数は増えていきませんが、少しでも体験することが大事と考えています。

さて、先週は5年生と軽井沢移動教室に行ってきました。目的の一つに、「集団生活のルールや望ましい生活習慣を身に付ける」があります。そこで、出発式で子どもたちに次の詩を話しました。

はきものをそろえると ころもそろふ / 心がそろふと はきものもそろふ /
ぬぐときにそろえておくと はくときに心がみだれない / だれかがみだしておいたら
だまってそろえてあげましょう / そうすればきっと世界中の人の心もそろふでしょう

この詩を作った長野県の円福寺の住職だった藤本幸邦さんは、戦争直後から多くの子どもたちを預かり、家族のようにして育ててこられました。玄関の靴がみだれているのを見てこの詩を作り、子どもたちに諭したそうです。

自分の靴をまずそろえることが大切であり、それができる人は、他人の靴もそろえることができるのです。トイレのサンダルなども、誰もが次の人のことを考えてそろえることができると、気持ちのよい学校や社会になるということです。

三日間の移動教室は、多少雨にもふられましたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。失敗することもありましたが、5分前集合、しっかりとした挨拶、自分の役割を確認し、責任をもって行動する等高学年として立派に行動することができるようになっていきました。この経験を今後の学校生活に生かしていけるようにしていきます。